

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月10日)

1. 共生農業資源経済学セッション コーディネーター: 山本康貴

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
S31	2016年2月10日	9:00-9:30	1	廣瀬 拓	食料自給率の国際比較に関する実証研究	共生基盤学	共生農業資源経済学	農業環境政策学
S31	2016年2月10日	9:30-10:00	2	繆 健茹	中国におけるウイルスフリー種いもの普及に関する研究	共生基盤学	共生農業資源経済学	開発経済学
S31	2016年2月10日	10:00-10:30	3	久郷 優	協同組合による生花通信配達事業の展開と加盟店への影響に関する研究	共生基盤学	共生農業資源経済学	食料農業市場学
S31	2016年2月10日	10:45-11:15	4	Doan NGOC OANH	ベトナム貧困地域における米生産の役割及び新技術の定着要因-北西部の山岳地域を事例として-	共生基盤学	共生農業資源経済学	農業経営学
S31	2016年2月10日	11:15-11:45	5	菅原 萌	北海道における醸造用ぶどう及びワイン生産に制度改変が与える影響に関する研究	共生基盤学	共生農業資源経済学	農業経営学
S31	2016年2月10日	13:00-13:30	6	石丸 百恵実	農業法人における従業員確保と人材育成-農業生産法人A社を事例として-	共生基盤学	共生農業資源経済学	農業経営学
S31	2016年2月10日	13:30-14:00	7	藤井 駿	地域漁業におけるサケ定置網漁業協業化の形成要因と経済的意義に関する研究-大樹サケ定置共同経営体・八雲町サケ漁業振興会の事例より-	共生基盤学	共生農業資源経済学	水産経営経済学

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月12日)

2. 応用分子生物学セッション コーディネーター: 伴戸久徳

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
N31	2015年2月12日	9:00- 9:15	1	石橋 大樹	バキュロウイルスゲノム人工合成系の構築	生物資源科学	応用分子生物学	応用分子昆虫学
N31	2015年2月12日	9:15- 9:30	2	石川 小百合	カイコ核多角体病ウイルス(BmNPV)膜タンパク質GP64の構造変化がウイルス増殖に及ぼす影響について	生物資源科学	応用分子生物学	応用分子昆虫学
N31	2015年2月12日	9:30- 9:45	3	川俣 智美	カイコ核多角体病ウイルス(BmNPV)コア遺伝子bm67の機能解析	生物資源科学	応用分子生物学	応用分子昆虫学
N31	2015年2月12日	9:45-10:00	4	小野山 雄亮	ネッタインマカにおけるCry11Aaトキシンレセプターの機能解析	生物資源科学	応用分子生物学	応用分子昆虫学
N31	2015年2月12日	10:00-10:15	5	高野 恵美子	Cry2AaがCry39Aaのハマダラカ殺虫活性に与える影響について	生物資源科学	応用分子生物学	応用分子昆虫学
N31	2015年2月12日	10:20-10:35	6	荻野 由香	ホウ酸輸送体BOR1の液胞輸送制御に重要なアミノ酸残基の同定と機能解析	生物資源科学	応用分子生物学	分子生物学
N31	2015年2月12日	10:35-10:50	7	工藤 凜	植物mRNAにおける、上流ORFによる遺伝子発現制御の解析	生物資源科学	応用分子生物学	分子生物学
N31	2015年2月12日	10:50-11:05	8	田中 泰生	シロイヌナズナホウ酸トランスポーターBOR1の分解、及び細胞膜上での偏在に関する研究	生物資源科学	応用分子生物学	分子生物学
N31	2015年2月12日	11:05-11:20	9	木俣 薫織	発生分化に関与する遺伝子の上流ORFペプチドによる転写後制御機構の解析	生物資源科学	応用分子生物学	分子生物学
N31	2015年2月12日	11:20-11:35	10	大角 有里沙	細胞増殖と関連した上流ORFによる翻訳制御の解析	生物資源科学	応用分子生物学	分子生物学
N31	2015年2月12日	11:35-11:50	11	植草 聡太	ダブルアンカー型イソマルトメガロ糖の生産と機能	生物資源科学	応用分子生物学	分子酵素学
N31	2015年2月12日	13:00-13:15	12	川田 恭平	Isomaltooligosaccharide 6- $\alpha$ -glucosyltransferaseの糖転移および基質特異性に寄与する構造因子の解析	生物資源科学	応用分子生物学	分子酵素学
N31	2015年2月12日	13:15-13:30	13	坂谷 敦	Dextran dextrinaseの生成物特異性に寄与するアミノ酸残基に関する研究	生物資源科学	応用分子生物学	分子酵素学

N31	2015年2月12日	13:30-13:45	14	福本 健太	GH31 $\alpha$ -glucosidase のN-loopが触媒機構に与える影響	生物資源科学	応用分子生物学	分子酵素学
N31	2015年2月12日	13:45-14:00	15	宮野 江梨	Kribbella flavida由来isomaltosyltransferaseの機能解析	生物資源科学	応用分子生物学	分子酵素学
N31	2015年2月12日	14:00-14:15	16	米山 琢馬	フツ化糖を用いた酸塩基触媒変異酵素による糖転移反応に関する研究	生物資源科学	応用分子生物学	分子酵素学

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月12日)

3. 植物育種科学セッション コーディネーター: 貴島祐治

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
S21	2016年2月12日	9:30-9:45	1	曾根 裕子	北海道在来イネ系統が持つ穂ばらみ期耐冷性遺伝領域の探索	生物資源科学	植物育種科学	植物育種学
S21	2016年2月12日	9:45-10:00	2	土田まるみ	Stay-green変異をもつダイズ遺伝資源の種子におけるクロロフィル蓄積機構の比較	生物資源科学	植物育種科学	植物遺伝資源学
S21	2016年2月12日	10:00-10:15	3	工藤友裕	ハウレンソウY染色体特異的領域の同定および構造解析	生物資源科学	植物育種科学	遺伝子制御学
S21	2016年2月12日	10:15-10:30	4	十川聡子	トウガラシの環境ストレスに対するアスコルビン酸蓄積応答機構に関する研究	生物資源科学	植物育種科学	細胞工学
S21	2016年2月12日	10:30-10:45	5	胡 娜	Genome-wide transcriptome analyses for intra/inter-species hybrids and cold stress responses at booting stage in rice	生物資源科学	植物育種科学	植物育種学
S21	2016年2月12日	10:45-11:00	6	朱 江慧	ダイズにおける半有限遺伝子Dt2の機能に関する研究	生物資源科学	植物育種科学	植物遺伝資源学
S21	2016年2月12日	11:00-11:15	7	高島聡史	ハウレンソウ性染色体とテンサイ常染色体の比較解析	生物資源科学	植物育種科学	遺伝子制御学
S21	2016年2月12日	11:15-11:30	8	阿部純也	祖先野生種を用いたダイズのクローバ葉脈黄化ウイルスに対する非宿主抵抗性の遺伝学的解析およびクローバ葉脈黄化ウイルスのP3N-ALTタンパク質の検出	生物資源科学	植物育種科学	植物病原学
S21	2016年2月12日	11:30-11:45	9	御厨 駿	ダイズにおける転移因子および外来遺伝子のDNAメチル化による制御に関する研究	生物資源科学	植物育種科学	細胞工学
S21	2016年2月12日	11:45-12:00	10	荒河匠	テンサイ細胞質雄性不稔性発現と花粉稔性回復における 翻訳後制御過程の研究	生物資源科学	植物育種科学	遺伝子制御学
S21	2016年2月12日	13:30-13:45	11	平田 愛	キンギョソウトランスポゾンTam3の転移を抑制する2つのStabiliser遺伝子の作用機構に関する遺伝学的研究	生物資源科学	植物育種科学	植物育種学
S21	2016年2月12日	13:45-14:00	12	大内 優一郎	ダイズにおける根形の変異と乾燥ストレス耐性との関連	生物資源科学	植物育種科学	植物遺伝資源学
S21	2016年2月12日	14:00-14:15	13	濱田宏之	テンサイ稔性回復遺伝子Rf2候補領域のDNA構造多型解析	生物資源科学	植物育種科学	遺伝子制御学
S21	2016年2月12日	14:15-14:30	14	長谷部葉子	核酸を利用したニンニク茎頂組織からのウイルスフリー化	生物資源科学	植物育種科学	細胞工学

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月10日)

4. 作物生産生物学セッション コーディネーター: 増田 清

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
S22	2016年2月10日	9:00-9:15	1	竹村 紘	バレイショの生育と収量における有機栽培と慣行栽培の比較	生物資源科学	作物生産生物学	作物学
S22	2016年2月10日	9:15-9:30	2	西浦 珠央	2倍体バレイショC×Eマップ集団における早期肥大性と開花期までの積算受光量	生物資源科学	作物生産生物学	作物学

S22	2016年2月10日	9:30-9:45	3	平澤 貴大	分子マーカーを利用したコムギ条斑病菌の生態学的研究	生物資源科学	作物生産生物学	植物病理学
S22	2016年2月10日	9:45-10:00	4	福江 由佳	<i>Phytophthora infestans</i> の培養性質と病原力に関する研究	生物資源科学	作物生産生物学	植物病理学
S22	2016年2月10日	10:10-10:25	5	林 将人	アスパラガスの雌性性発現に関わる遺伝指標の研究	生物資源科学	作物生産生物学	作物生理学
S22	2016年2月10日	10:25-10:40	6	鈴木 智	ダットンソバにおけるルチン分解酵素に関する研究	生物資源科学	作物生産生物学	作物生理学
S22	2016年2月10日	10:40-10:55	7	望月 遼太	植物核ラミナー染色質相互作用を司る分子機構の研究	生物資源科学	作物生産生物学	作物生理学
S22	2016年2月10日	11:05-11:20	8	引田 陸	植物核ラミナーを構成するNMCP2属タンパク質の構造とダイナミクス	生物資源科学	作物生産生物学	作物生理学
S22	2016年2月10日	11:20-11:35	9	鈴木 雄大	圃場及び野生で生育するユリにおけるウイルスの検出と茎頂培養を用いたウイルス除去技術の検討	生物資源科学	作物生産生物学	植物機能開発学
S22	2016年2月10日	11:35-11:50	10	鈴木 一真	RNA-seqを用いたアジアティックハイブリッドユリにおいてバイカラーの花被片を生じさせる遺伝子機構の解析	生物資源科学	作物生産生物学	植物機能開発学
S22	2016年2月10日	13:00-13:15	11	奥 聡史	タマネギ葉組織および鱗茎におけるフルクタン含量と生合成能の品種間差	生物資源科学	作物生産生物学	園芸学
S22	2016年2月10日	13:15-13:30	12	久保 勇喜	シーベリーの緑枝挿しおよび葉組織片培養を用いた種苗増殖技術の開発	生物資源科学	作物生産生物学	園芸学
S22	2016年2月10日	13:30-13:45	13	松岡 郁子	ギョウジャニンニク諸形質の系統間差および環境応答性	生物資源科学	作物生産生物学	園芸学

#### 2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月10日)

##### 5. 畜産科学セッション コーディネーター:高橋昌志

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
S21	2016年2月10日	09:00-09:20	1	秋沢宏紀	ウシ着床前期における胚-子宮間連絡分子群の探索	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜改良増殖学
S21	2016年2月10日	09:20-09:40	2	郡 七海	ウシ胚盤胞期における割球の位置と細胞分化制御の関連	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜改良増殖学
S21	2016年2月10日	09:40-10:00	3	納多 春佳	北海道和種繁殖母馬のヒト許容距離(FD)と子馬のヒト許容距離の関係	生物資源科学	家畜生産学生物学	畜牧体系学
S21	2016年2月10日	10:10-10:30	4	岩橋 悠	マメ外皮給与が単胃動物の消化管環境に及ぼす影響	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜栄養学
S21	2016年2月10日	10:30-10:50	5	川西 由希子	黒毛和種牛における重要ルーメン細菌群の生態学的解析	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜栄養学
S21	2016年2月10日	10:50-11:10	6	武田 晴香	繊維分解産物を利用するルーメン細菌種間の協調関係に関する研究	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜栄養学
S21	2016年2月10日	11:10-11:30	7	田森航也	カシューナッツ殻液給与がタイ在来牛および沼沢水牛の糞便発酵および菌叢に及	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜栄養学
S21	2016年2月10日	13:00-13:20	8	市村恵美	筋原線維の太いフィラメントにおけるミオシンの置換機構	共生基盤学	食品安全・機能性開発学	食肉科学
S21	2016年2月10日	13:20-13:40	9	楠瀬 睦	鶏肉エキス摂取による末梢の体温上昇効果に関する研究	共生基盤学	食品安全・機能性開発学	食肉科学
S21	2016年2月10日	13:40-14:00	10	黒田 裕介	馬肉摂取による体温低下に関する研究	共生基盤学	食品安全・機能性開発学	食肉科学
S21	2016年2月10日	14:10-14:30	11	本間 文佳	至適pHの異なる2つのZnPP形成機構に関する研究	共生基盤学	食品安全・機能性開発学	食肉科学

S21	2016年2月10日	14:30-14:50	12	大津山 建	ホエイ固形培地上における紅麹菌の二次代謝産物産生条件の検討	応用生物科学	食資源科学	応用食品科学
S21	2016年2月10日	14:50-15:10	13	江越 広大	再構成ウシ後産ECMスポンジの細胞培養基質としての性状	共生基盤学	食品安全・機能的開発学	食品素材開発学

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月10日)

6. 食品科学セッション コーディネーター:川端 潤

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
N11	2016年2月10日	13:00-13:20	1	久米駿介	イソマルトメガロ糖による消化管バリア増強作用の解析 — 細胞膜マイクロドメインの関与	応用生物科学	食資源科学	食品健康科学
N11	2016年2月10日	13:20-13:40	2	吉田和馬	アルギニンペプチドによる膵腺房細胞タンパク質翻訳開始の活性化機構	応用生物科学	食資源科学	食品健康科学
N11	2016年2月10日	13:40-14:00	3	野勢琢馬	トリプトファン代謝物スカトールによる二次胆汁酸産生の亢進	応用生物科学	食資源科学	食品栄養学
N11	2016年2月10日	14:00-14:20	4	須藤僚也	食事誘導性肥満モデルラットにおける難消化性デキストリンのGLP-1産生増加作用	応用生物科学	食資源科学	食品健康科学
N11	2016年2月10日	14:20-14:40	5	矢萩明日香	<i>trans,trans</i> -2,4-デカジエナルが引き起こす胃排出抑制機構の解明	応用生物科学	食資源科学	食品健康科学
N11	2016年2月10日	15:00-15:20	6	上西雄大	食品素材からのジペプチジルペプチダーゼIV阻害物質の探索	応用生物科学	食資源科学	食品機能化学
N11	2016年2月10日	15:20-15:40	7	片山紳司	マカに含有される糖取り込み促進活性物質の探索	応用生物科学	食資源科学	食品機能化学
N11	2016年2月10日	15:40-16:00	8	濱田晃弘	腸上皮におけるセロトニンシステムの解析	生命科学院	生命システム科学	消化管生理学

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月10日)

7. 生化学・微生物科学セッション コーディネーター:森 春英

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
大講堂	2016年2月10日	9:30-9:50	1	加藤 竜一	大腸菌において呼吸鎖変化がグルコース代謝および細胞内酸化還元バランスに及ぼす影響	応用生物科学	生命分子化学	微生物生理学
大講堂	2016年2月10日	9:50-10:10	2	河口 礼佳	マウス消化管内で特異的に発現するビフィズス菌遺伝子の探索	共生基盤学	食品安全・機能的開発学	胃腸内圏微生物学
大講堂	2016年2月10日	10:10-10:30	3	佐藤耶舞羽	<i>Lactobacillus gasseri</i> 種の株間におけるリポペプチドの構造比較	共生基盤学	食品安全・機能的開発学	胃腸内圏微生物学
大講堂	2016年2月10日	10:30-10:50	4	鳥居 剛史	二種の腸内細菌の代謝リレーによる新たなデオキシコール酸生成経路の発見	共生基盤学	食品安全・機能的開発学	胃腸内圏微生物学
大講堂	2016年2月10日	11:00-11:20	5	山岸 彩沙	培地調製法がもたらす分離微生物種の差異と新規微生物の探索	応用生物科学	生命分子化学	応用菌学
大講堂	2016年2月10日	11:20-11:40	6	金田 祥宜	カリウム輸送タンパクの分子進化工学的改変による セシウム蓄積大腸菌の創出	応用生物科学	生命分子化学	応用菌学
大講堂	2016年2月10日	11:40-12:00	7	村尾 和樹	組換え枯草菌によるショ糖からのDFA IV生産の向上にむけて	応用生物科学	生命分子化学	応用菌学
大講堂	2016年2月10日	12:00-12:20	8	鷹 諒介	高脂肪食条件における難消化性オリゴ糖DFAIIIとFOSの投与による腸内細菌叢の比較評価	応用生物科学	生命分子化学	応用菌学
大講堂	2016年2月10日	13:30-13:50	9	高雄 惇英	ルーピン( <i>Lupinus albus</i> L.)における特徴的なセシウム吸収傾向	共生基盤学	生物共生科学	植物栄養生態学

大講堂	2016年2月10日	13:50-14:10	10	土谷 修平	ナトリウムがテンサイとイネの生育および抗酸化応答へ与える影響	共生基盤学	生物共生科学	植物栄養生態学
大講堂	2016年2月10日	14:10-14:30	11	藤石 愛美	ルーピンとの混植がイネ科牧草の生育および窒素吸収に及ぼす影響	共生基盤学	生物共生科学	植物栄養生態学
大講堂	2016年2月10日	14:30-14:50	12	手塚 大介	イネにおけるトレハロース誘導抵抗性に関する分子生物学的研究	共生基盤学	生物共生科学	北海道農業生産基盤学
大講堂	2016年2月10日	15:00-15:20	13	中山 航	DNA組換え修復タンパク質MRN複合体に着目したイネいもち病防除法の開発	共生基盤学	生物共生科学	植物圏微生物学
大講堂	2016年2月10日	15:20-15:40	14	藤原 志帆	イネいもち病菌由来非病原性タンパク質AVR-Piaの多量体化に関する研究	共生基盤学	生物共生科学	植物圏微生物学
大講堂	2016年2月10日	15:40-16:00	15	菅原 好美	シロイヌナズナ由来β-グルコシダーゼBglu13、Bglu15およびBglu16のグライコシンターゼ化および基質特異性に関する研究	共生基盤学	食品安全・機能性開発学	機能性食品変換学
大講堂	2016年2月10日	16:00-16:20	16	岩藤 伸治	イネ由来スクロースシンターゼ3組換え酵素の基質特異性の変換および生化学的糖質合成への応用	応用生物科学	生命分子化学	生物化学

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月10日)

8. 有機化学セッション コーディネーター:橋床 泰之

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
座長 崎浜 靖子								
N21	2015年2月10日	9:00-9:20	1	井上 悠敬	バレイショ塊茎形成におけるジャスモン酸類の移動と働き	応用生物科学	生命分子化学	生物有機化学
N21	2015年2月10日	9:20-9:40	2	内山 明	OPDA類縁体の合成と生理活性評価	応用生物科学	生命分子化学	生物有機化学
N21	2015年2月10日	9:40-10:00	3	大鹿 遵	ゼニゴケのT-DNA挿入変異株を用いたOPDA作用機序に関する研究	共生基盤学	バイオマス転換学	化学生物学
N21	2015年2月10日	10:00-10:20	4	吉川 麻友	傷害ストレスにより誘導されるゼニゴケ ( <i>Marchantia polymorpha</i> ) の二次代謝産物に関する研究	共生基盤学	バイオマス転換学	化学生物学
座長 高橋 公咲								
N21	2015年2月10日	10:40-11:00	5	井上 周也	Tautomycetinの合成研究 - C1-C11セグメントの構築 -	応用生物科学	生命分子化学	木質生命化学
N21	2015年2月10日	11:00-11:20	6	岡戸 祐治	(+)-Epogymnolactam誘導体の合成	応用生物科学	生命分子化学	木質生命化学
N21	2015年2月10日	11:20-11:40	7	岡本 允志	フタルアルデヒド誘導体を用いたローダミン合成と性質確認	応用生物科学	生命分子化学	生態化学生物学
N21	2015年2月10日	11:40-12:00	8	西山 隆晃	アブラナ科植物を含む緑肥植物が放出する二次代謝産物によるN2O生成脱窒細菌制御の検証	応用生物科学	生命分子化学	生態化学生物学
座長 重富 顕吾								
N21	2015年2月10日	13:00-13:20	9	花井 悠介	ストレス負荷におけるベタレイン含有植物タンパク質の変動解析	応用生物科学	生命分子化学	生態化学生物学
N21	2015年2月10日	13:20-13:40	10	羽馬 大輔	ベタレイン色素の植物組織内動態とその動的機能性解明	応用生物科学	生命分子化学	生態化学生物学
N21	2015年2月10日	13:40-14:00	11	横田 基	<i>Trichoderma virens</i> を用いたセスキテルペン合成系強化とその改変を目指した遺伝子変換系構築	応用生物科学	生命分子化学	生態化学生物学
N21	2015年2月10日	14:00-14:20	12	Tachrim Zetryana Puteri	Halogenated sucrose at the primary position: Comprehensive structure elucidation and reactivity study (スクロース1級水酸基のハロゲン化: 網羅的構造検討と反応性検討)	応用生物科学	生命分子化学	生態化学生物学 (英語特別コース)

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月10日)

9. 生物生態・体系学セッション コーディネーター: 富士田 裕子

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
N31	2016年2月10日	11:00-11:20	1	小名木 航太	フタホシコオロギにおける時間割引	環境資源学	生物生態体系学	動物生態学
N31	2016年2月10日	11:20-11:40	2	大久保 祐作	ヨーロッパエコオロギの空間割引モデル-指数的割引モデルと双曲的割引モデルの比較を中心に-	環境資源学	生物生態体系学	動物生態学
N31	2016年2月10日	11:40-12:00	3	山本 達紘	シワクシケアリ <i>Myrmica kotokui</i> のエサ資源選択における、閾値の個体間変異の重要性	環境資源学	生物生態体系学	動物生態学
N31	2016年2月10日	13:00-13:20	4	井上 万紀	グッピーにおける色彩の個体差による時間割引への影響	環境資源学	生物生態体系学	動物生態学
N31	2016年2月10日	13:20-13:40	5	吉田 亮介	グッピーにおけるネオフィリアの適応的意義について	環境資源学	生物生態体系学	動物生態学
N31	2016年2月10日	13:40-14:00	6	安保 英志	北海道産イワレンゲ属 <i>Orostachys</i> の分類学的再検討	環境資源学	生物生態体系学	植物生態体系学
N31	2016年2月10日	14:00-14:20	7	船本 麻奈未	帰化植物オニハマダイコンの生態学的研究-日本における分布と生態について-	環境資源学	生物生態体系学	植物生態体系学
N31	2016年2月10日	14:30-14:50	8	菊地 波輝	日本産 <i>Pristiceros</i> 属の分類学的再検討(膜翅目ヒメバチ科ヒメバチ亜科)	環境資源学	生物生態体系学	昆虫学
N31	2016年2月10日	14:50-15:10	9	舘田 開	北海道大学総合博物館所蔵の鱗翅目昆虫標本のデータベース化および種構成の分析(シヤクガ科)	環境資源学	生物生態体系学	系統・分類学
N31	2016年2月10日	15:10-15:30	10	古屋敷 淳	ハオレハバチ属のゴールにおける形成者と利用者の関係性	環境資源学	生物生態体系学	系統・分類学

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月12日)

10. 地域環境学セッション コーディネーター: 波多野 隆介

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
N21	2016年2月12日	13:35-13:55	1	長竹 新	堆肥の施与が北海道南部黒ボク土採草地における窒素収支に与える影響-特にN <sub>2</sub> O排出と硝酸溶脱に与える影響	環境資源学	地域環境学	土壌学
N21	2016年2月12日	13:55-14:15	2	大倉健太郎	都市公園における炭素・窒素収支と地球温暖化への影響の評価	環境資源学	地域環境学	土壌学
N21	2016年2月12日	14:15-14:35	3	小倉加世子	福島第一原発事故により放棄された農業流域における放射性Cs流出量予測へのSWATモデルの適用	環境資源学	地域環境学	土壌学
N21	2016年2月12日	14:35-14:55	4	小杉重順	粘土鉱物の表面荷電モデル:カオリナイトのリン酸吸着と分散凝集動態	環境資源学	地域環境学	土壌物理学
N21	2016年2月12日	15:10-15:30	5	鈴木啓司	台風攪乱後のカラマツ林跡地におけるエネルギー収支および蒸発散の変化	環境資源学	地域環境学	生態系情報学
N21	2016年2月12日	15:30-15:50	6	Nur Wakhid	Soil CO <sub>2</sub> emissions from a rubber plantation on tropical peat	環境資源学	地域環境学	生態系情報学
N21	2016年2月12日	15:50-16:10	7	泉本隼人	畜産排水を対象とした3つの実規模ハイブリッド伏流式人工湿地におけるリ	環境資源学	地域環境学	水土環境学
N21	2016年2月12日	16:20-16:40	8	野崎晃央	中国トルファン地区における農業水利の現状と課題	環境資源学	地域環境学	水土環境学
N21	2016年2月12日	16:40-17:00	9	平山宏次郎	航空機反復LiDAR測量による10年間の森林炭素変化量の評価	環境資源学	地域環境学	生物環境物理学
N21	2016年2月12日	17:00-17:20	10	林健太	洞爺湖における水温・水質の変動特性と空間構造に関する研究	環境資源学	地域環境学	生物環境物理学

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月4日)

11. 森林資源科学セッション コーディネーター: 矢島崇

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
W109	2016年2月4日	9:10-9:30	1	荒木 基二	8年間の窒素付加をおこなったグイマツ雑種F <sub>1</sub> の外生菌根菌相	環境資源学	森林資源科学	造林学
W109	2016年2月4日	9:30-9:50	2	加藤 幹大	荒廃した熱帯泥炭湿地の自生種による産業造林の収益性評価	環境資源学	森林資源科学	造林学
W109	2016年2月4日	9:50-10:10	3	崎川 哲一	開放系オゾン暴露施設で生育するシラカンバ若齢木に対するハンノキハムシの食害パターン	環境資源学	森林資源科学	造林学
W109	2016年2月4日	10:10-10:30	4	戸田 真理子	落葉広葉樹林における風害後60年間の林分動態	環境資源学	森林資源科学	造林学
W109	2016年2月4日	10:40-11:00	5	小杉 陵太	前生林の樹種構成が異なる天然林2林分における強度風害後60年間の林分構造と樹種構成の変化	環境資源学	森林資源科学	造林学
W109	2016年2月4日	11:00-11:20	6	久保田 惇	リグニンを原料とする電気二重層キャパシタ用セパレータの開発	環境資源学	森林資源科学	森林化学
W109	2016年2月4日	11:20-11:40	7	山本 陽子	両親媒性リグニン誘導体とセルラーゼとの相互作用	環境資源学	森林資源科学	森林化学
W109	2016年2月4日	11:40-12:00	8	相澤 桃子	北海道産スギタケ属の分類学的再検討	環境資源学	森林資源科学	森林資源生物学
W109	2016年2月4日	13:00-13:20	9	北原 岳明	長ほぞ込栓接合の引抜挙動における木栓の樹種特性の影響	環境資源学	森林資源科学	木材工学
W109	2016年2月4日	13:20-13:40	10	日置 絵里香	樹幹ヤング率の非破壊評価法の検討	環境資源学	森林資源科学	木材工学
W109	2016年2月4日	13:40-14:00	11	加藤 潤	カラマツのデハイドリンタンパク質と樹木の耐寒性機構との関係について	共生基盤学	バイオマス転換学	資源植物創成学
W109	2016年2月4日	14:00-14:20	12	桜井 健至	交雑ポプラ細胞における小胞体の構造解析	共生基盤学	バイオマス転換学	資源植物創成学

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月4日)

12. 森林・緑地管理学セッション コーディネーター: 柿澤宏昭

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
N31	2016年2月4日	9:30-9:50	1	島崎 敦	都市で鳥類の移動を促進するためには緑道の設置と庭木の植栽のどちらが有効か?—モビングコール再生実験とサーキット理論を用いた検証—	環境資源学	森林・緑地管理学	森林生態系管理学
N31	2016年2月4日	9:50-10:10	2	中川 考介	人工林化が森林の風倒レジームに与える影響	環境資源学	森林・緑地管理学	森林生態系管理学
N31	2016年2月4日	10:10-10:30	3	矢部 敦子	農地景観におけるエゾシカによる林床植生の被食パターンの解明	環境資源学	森林・緑地管理学	森林生態系管理学
N31	2016年2月4日	10:30-10:50	4	山本 逸生	ダムによる氾濫原の樹林化が水生生物群集に及ぼす影響	環境資源学	森林・緑地管理学	森林生態系管理学
N31	2016年2月4日	11:00-11:20	5	西浦 夏	天然ダムのパイピング型決壊時流量に関する水路実験	環境資源学	森林・緑地管理学	流域砂防学
N31	2016年2月4日	11:20-11:40	6	山本 紘也	2時期の航空レーザー測量データ解析による表層崩壊危険箇所抽出 - 阿蘇山カルデラ壁の例 -	環境資源学	森林・緑地管理学	流域砂防学
N31	2016年2月4日	11:40-12:00	7	宮本 柚貴	奄美大島のエコツアーガイドの現状と課題;世界自然遺産登録を見据えて	環境資源学	森林・緑地管理学	森林政策学

N31	2016年2月4日	13:00-13:20	8	大塚 友貴	サワギキョウの埋土種子形成と刈り取りが生育に及ぼす影響	環境資源学	森林・緑地管理学	花卉・緑地計画学
N31	2016年2月4日	13:20-13:40	9	稲場 彩夏	都市近郊林と自然公園における野生動物への餌付けと利用者意識	環境資源学	森林・緑地管理学	花卉・緑地計画学
N31	2016年2月4日	13:40-14:00	10	愈 晨	自然公園における生物多様性と利用体験を考慮したゾーニングの検討	環境資源学	森林・緑地管理学	花卉・緑地計画学
N31	2016年2月4日	14:00-14:20	11	狭間 倫哉	北海道における風力発電事業にかかる景観紛争リスク軽減のための研究	環境資源学	森林・緑地管理学	花卉・緑地計画学

2015年度(平成27年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2016年2月10日)

13. 生物生産工学セッション コーディネーター:野口 伸

会場	発表日	発表時間	順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
S12	2016年2月10日	10:00-10:20	1	江戸俊介	人工標識による田植機の自動操舵に関する研究	環境資源学	生物生産工学	ビークルロボティクス
S12	2016年2月10日	10:20-10:40	2	加藤友彬	低コスト3次元カメラを用いた圃場センシングのためのソフトウェアフレームワーク設計開発	環境資源学	生物生産工学	ビークルロボティクス
S12	2016年2月10日	10:40-11:00	3	鹿野智久	レーザスキャナを利用した水田用ロボットポートに関する研究	環境資源学	生物生産工学	ビークルロボティクス
S12	2016年2月10日	11:10-11:30	4	中村聡宏	ロボットコンバインの圃場適用性に関する研究	環境資源学	生物生産工学	ビークルロボティクス
S12	2016年2月10日	11:30-11:50	5	城 敦	米麦の水分とタンパク質測定のための近赤外分析計及びその検量線の開発	共生基盤学	食品安全・機能性開発学	食品総合技術監理学
S12	2016年2月10日	11:50-12:10	6	北南秀和	低水分活性食品における食中毒細菌の死滅挙動の解明	共生基盤学	食品安全・機能性開発学	食品総合技術監理学
S12	2016年2月10日	13:30-13:50	7	宮島誠也	作物生産のエネルギー効率について	環境資源学	生物生産工学	作物生産システム工学
S12	2016年2月10日	13:50-14:10	8	何 少青	垣根仕立てブドウのロボット収穫用マシンビジョンシステムの開発	共生基盤学	バイオマス転換学	バイオマス生産制御学
S12	2016年2月10日	14:10-14:30	9	杉嶋 純	乳牛ふん仕上がり堆肥を用いた生物脱臭層のアンモニア吸着	環境資源学	生物生産工学	農業循環工学
S12	2016年2月10日	14:30-14:50	10	高田優祈	自然発火現象を用いた廃棄物系バイオマスの炭化方法の検討 一外部熱源を利用した有酸素下の炭化一	環境資源学	生物生産工学	農業循環工学
S12	2016年2月10日	15:00-15:20	11	土屋真一	CO <sub>2</sub> センサを用いた牛ふんコンポスト化通気量制御と反応の解析	環境資源学	生物生産工学	農業循環工学
S12	2016年2月10日	15:20-15:40	12	中嶋 昂	都市ごみの高濃度メタン発酵	環境資源学	生物生産工学	農業循環工学